



ユニプレス株式会社

2023年度第2四半期決算報告

2023年11月24日 代表取締役 社長執行役員 浦西 信哉



UNIPRES CORPORATION



2023年度第2四半期決算について

2023年度見通しについて

中期経営方針

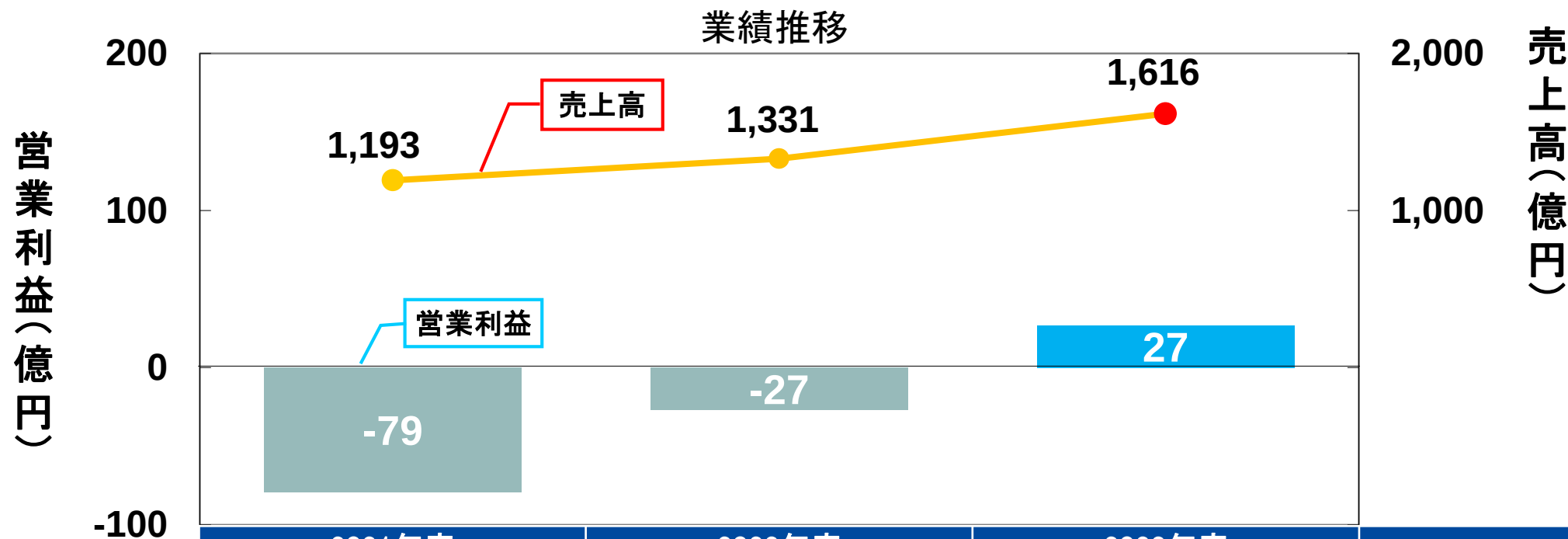


2023年度第2四半期決算について

一部地域における新型コロナウイルスの影響はあったものの、得意先の増産影響および為替換算影響等により、売上高は1,616億円と増収。
営業利益は売上増の影響等により、27億円と増益。

2023年度第2四半期連結決算サマリー

- 売上高は、前年同期比285億円増収（21.4%増）
- 営業利益は、前年同期比54億円の増益



	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期 (A)	2023年度 第2四半期 (B)	(B) - (A)
売上高	1,193	1,331	1,616	+285
営業利益	-79	-27	27	+54
経常利益	-72	-14	32	+46
親会社株主に帰属 する四半期純利益	-77	-18	8	+26

製品群別連結売上構成

(億円)

	2022年度第2四半期		2023年度第2四半期		売上高 増減額	構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比		
車体プレス製品	1,151	86.5%	1,417	87.6%	+266	+1.1%
トランスミッション製品	156	11.7%	172	10.7%	+16	-1.0%
樹脂製品	14	1.1%	19	1.2%	+5	+0.1%
その他	10	0.7%	8	0.5%	-2	-0.2%
合計	1,331	100%	1,616	100%	+285	—

得意先別連結売上構成(日産自動車関連)

- 東風汽車向けの減少はあったものの、メキシコ日産向け等の増加により、構成比は0.3%増加

	2022年度第2四半期		2023年度第2四半期		構成比 増減	(億円)
	売上高	構成比	売上高	構成比		
日産自動車関連 小計	1,017	76.4%	1,239	76.7%	+0.3%	
日産自動車	210	15.8%	268	16.6%	+0.8%	
北米日産	178	13.4%	228	14.1%	+0.7%	
メキシコ日産自動車	103	7.7%	199	12.3%	+4.6%	
東風汽車	237	17.8%	194	12.0%	-5.8%	
欧州日産自動車	100	7.5%	144	8.9%	+1.4%	
ジャトコ(海外拠点含む)	98	7.4%	94	5.8%	-1.6%	
日産車体	45	3.4%	58	3.6%	+0.2%	
マレリ(海外拠点含む)	19	1.4%	26	1.6%	+0.2%	
タイ日産自動車	9	0.7%	16	1.0%	+0.3%	
ルノー日産インドア/インド日産	17	1.3%	12	0.7%	-1.6%	
鄭州日産	1	0.1%	0.1	0.01%	-0.1%	

得意先別連結売上構成(日産自動車関連以外)

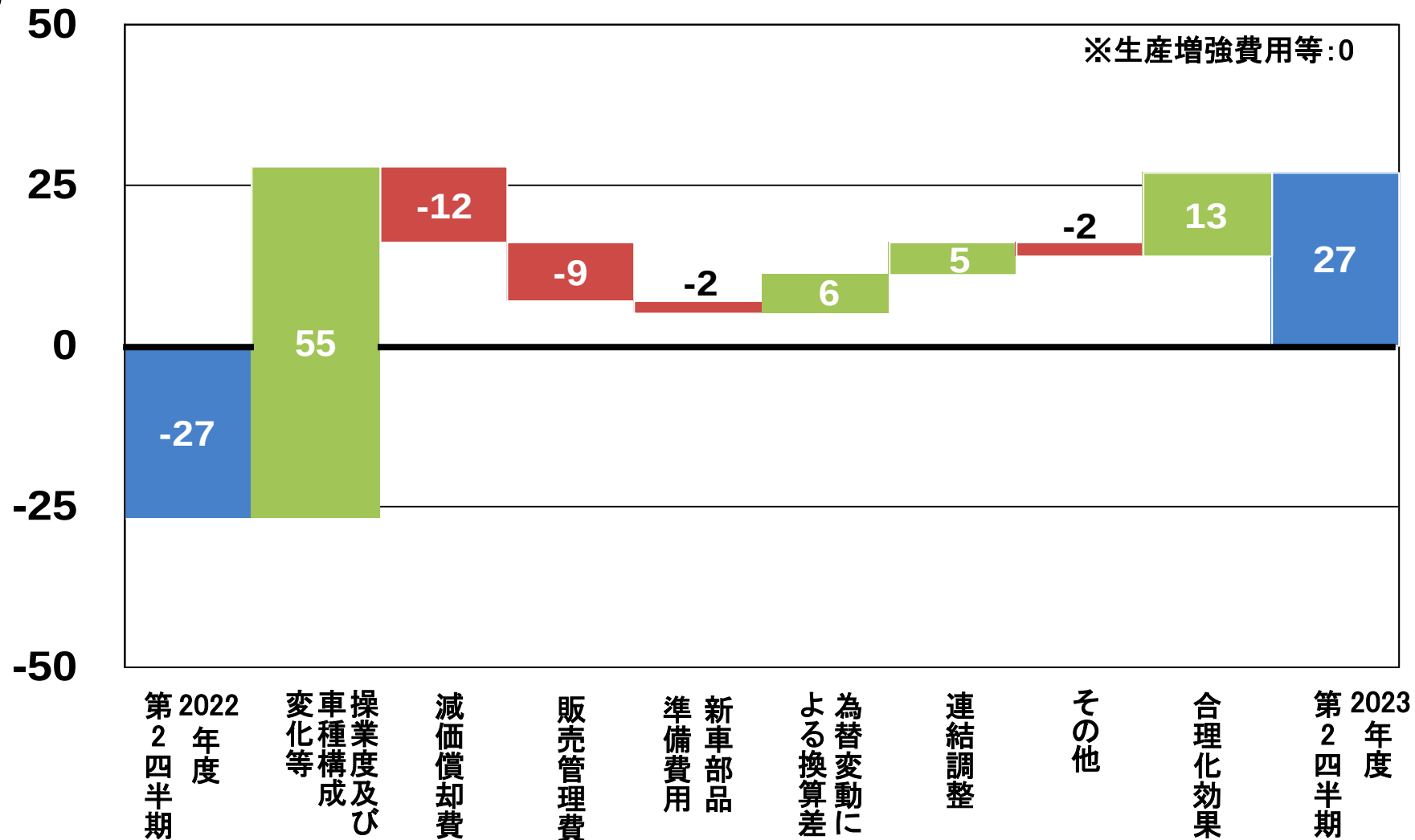
- ルノー向け等の減少により、構成比は0.3%減少

(億円)

		2022度第2四半期		2023度第2四半期		構成比 増減
		売上高	構成比	売上高	構成比	
日産自動車関連以外の得意先 小計		314	23.6%	377	23.3%	-0.3%
内)ホンダ	米国ホンダ	34.7	2.6%	52.9	3.3%	+0.7%
	メキシコホンダ	13.5	1.0%	14.7	0.9%	-0.1%
	本田技研工業	10.7	0.8%	13.8	0.9%	+0.1%
	インドネシアホンダ	8.9	0.7%	7.4	0.5%	-0.2%
三菱自動車工業(海外拠点含む)		46.5	3.5%	71.0	4.4%	+0.9%
ステランティス		27.5	2.1%	35.4	2.2%	+0.1%
ルノー	ルノー	26.4	2.0%	27.9	1.7%	-0.3%
	ルノー日産インドア	12.0	0.9%	7.1	0.4%	-0.5%
マツダ	マツダ	10.1	0.8%	15.0	0.9%	+0.1%
	メキシコマツダ	3.7	0.3%	7.2	0.4%	+0.1%
アイシン(海外拠点含む)		14.1	1.1%	21.3	1.3%	+0.2%
ジャトコ(日産以外)(海外拠点含む)		15.1	1.1%	15.0	0.9%	-0.2%
ダイナックス(海外拠点含む)		8.5	0.6%	8.3	0.5%	-0.1%
SUBARU		5.3	0.4%	6.8	0.4%	0.0%
豊田鉄工(海外拠点を含む)		0.6	0.0%	5.5	0.3%	+0.3%
スズキ(海外拠点含む)		2.6	0.2%	2.7	0.2%	0.0%
武蔵精密工業		0.5	0.0%	2.7	0.2%	+0.2%
NSKワーナー		1.2	0.1%	2.3	0.1%	0.0%
日野自動車(海外拠点含む)		1.3	0.1%	1.7	0.1%	0.0%
いすゞ自動車(海外拠点含む)		1.2	0.1%	1.1	0.1%	0.0%
UDトラックス		1.1	0.1%	1.1	0.1%	0.0%

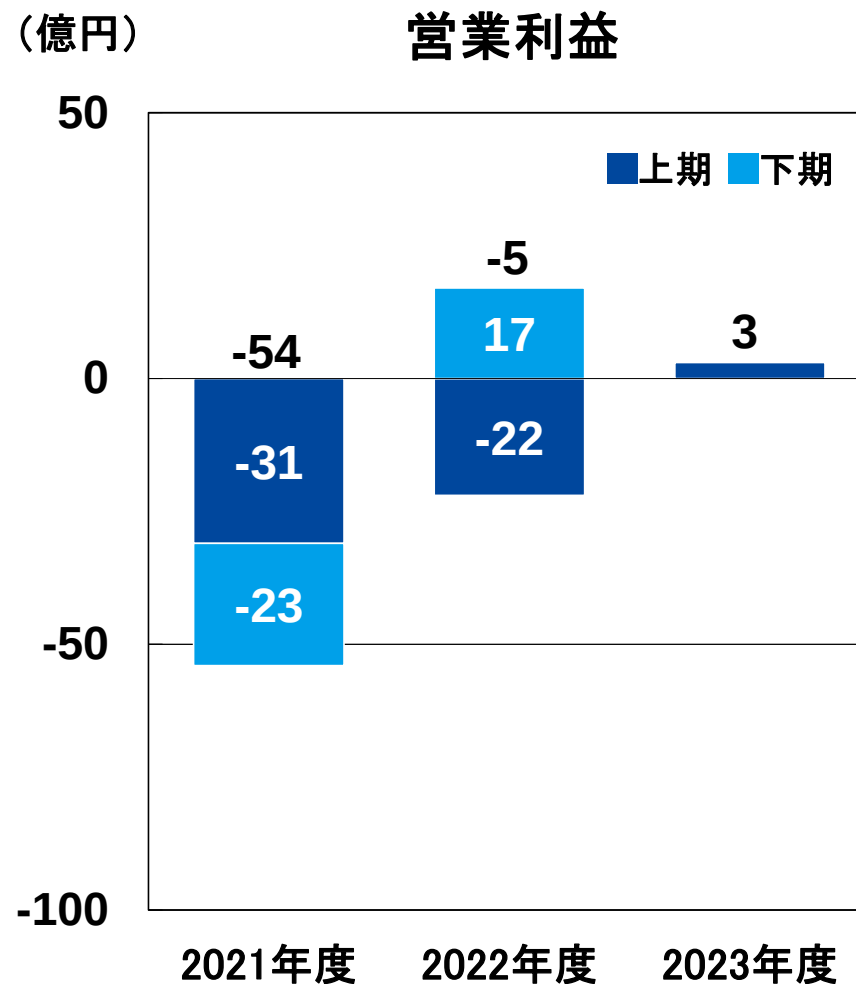
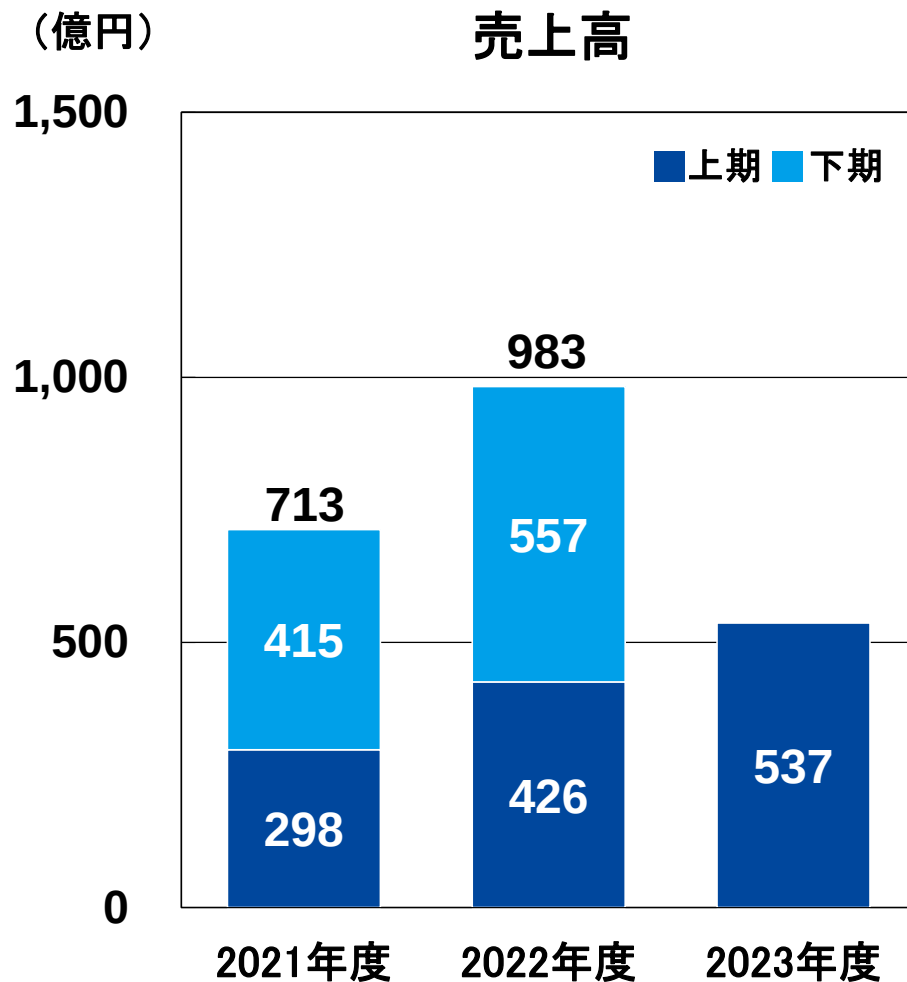
営業利益の増減要因

(億円)



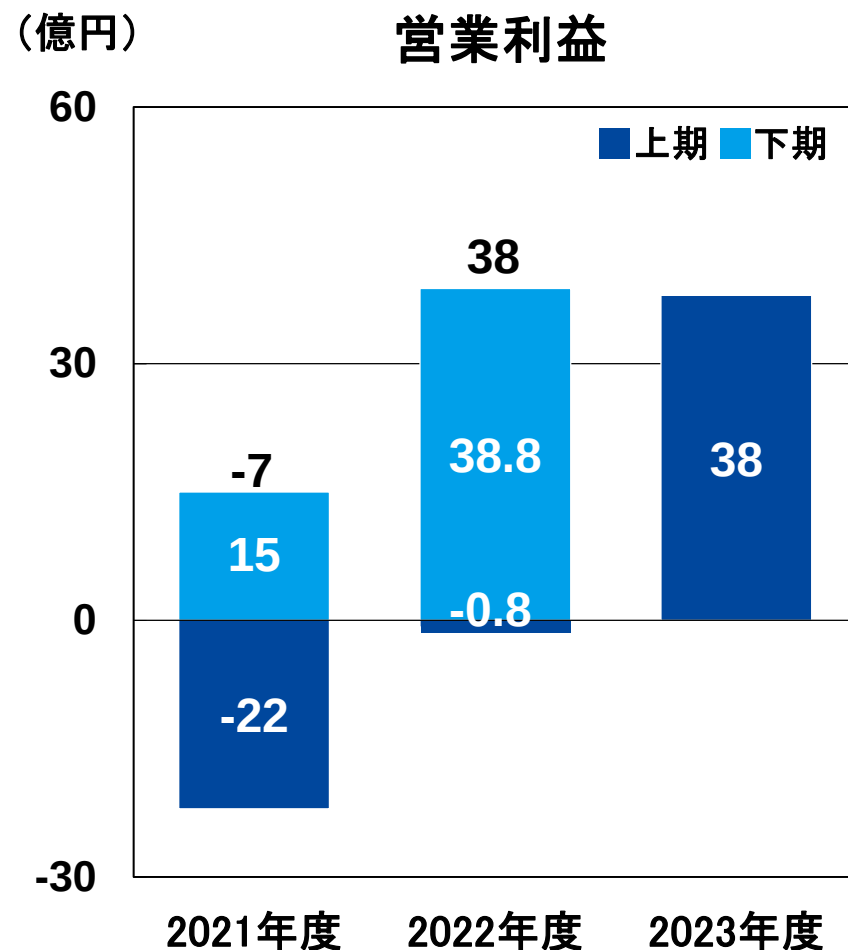
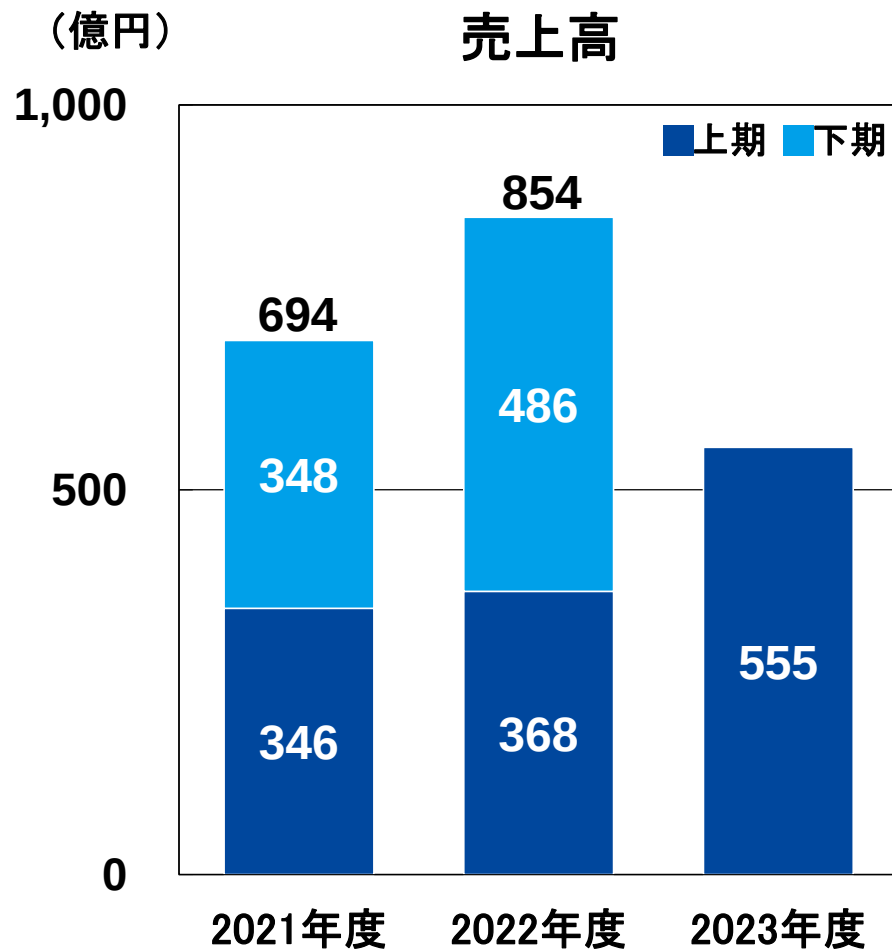
地域別売上高・営業利益(日本)

- 売上高は、得意先の増産影響等により、26.1%の増収
- 営業利益は、売上増の影響等により、25億円の増益



地域別売上高・営業利益(米州)

- 売上高は、得意先の増産影響および為替換算影響等により、50.8%の増収
- 営業利益は、売上増の影響等により、38億円の増益

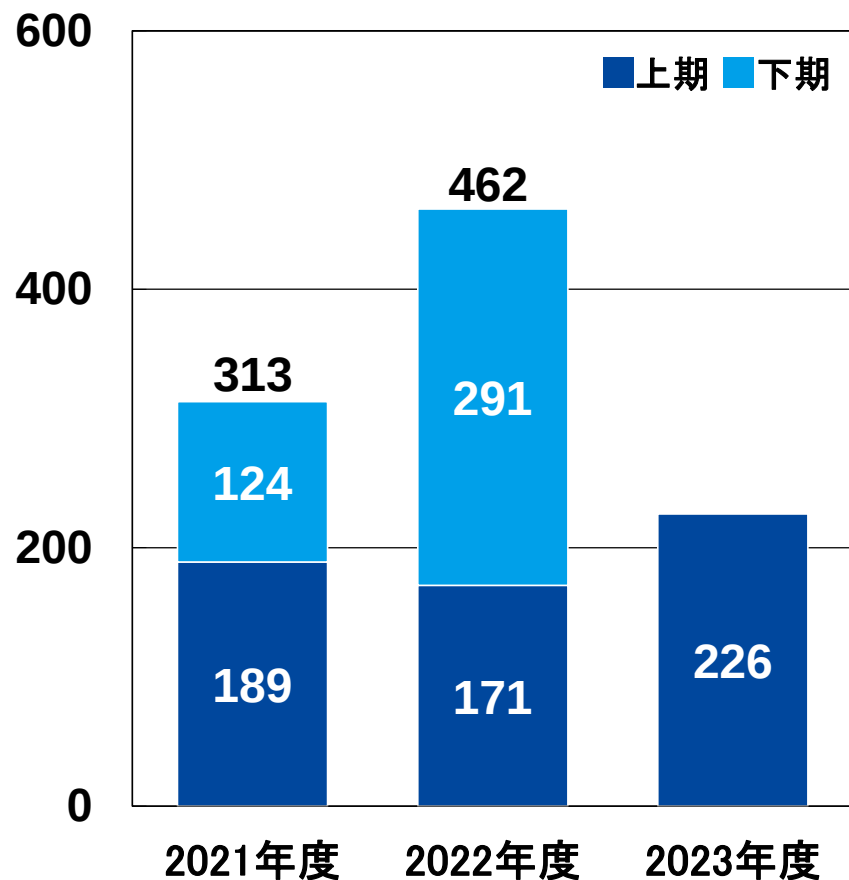


地域別売上高・営業利益(欧州)

- 売上高は、得意先の増産影響および為替換算影響等により、32.2%の増収
- 営業利益は、新車部品立上げに伴う費用増加等により、6億円の損失

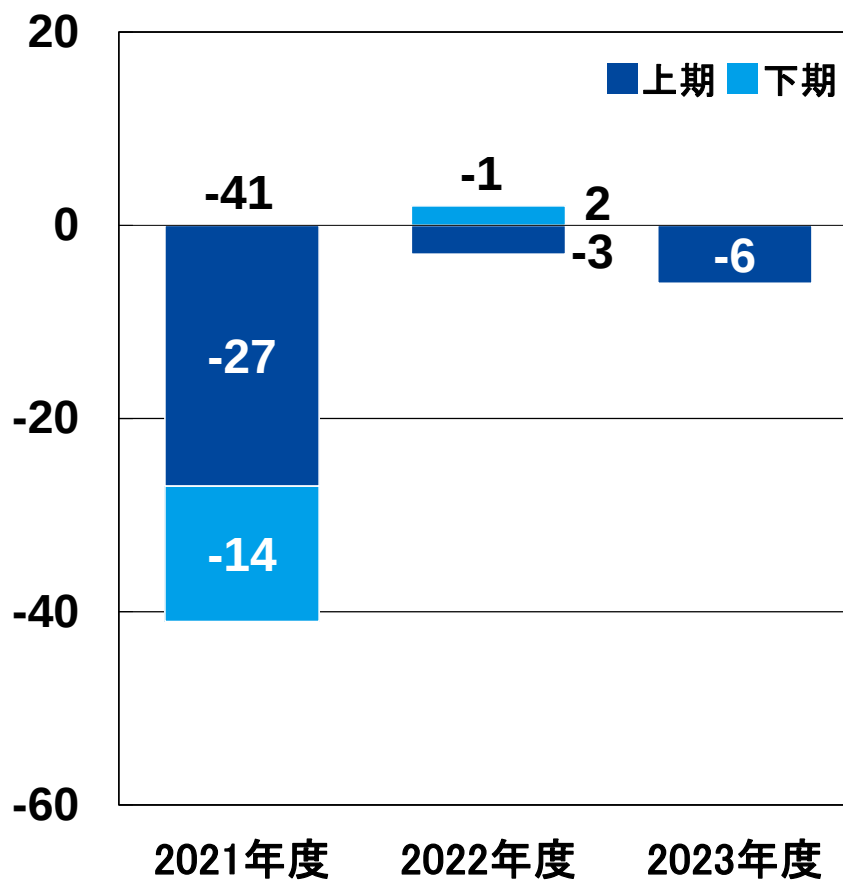
(億円)

売上高



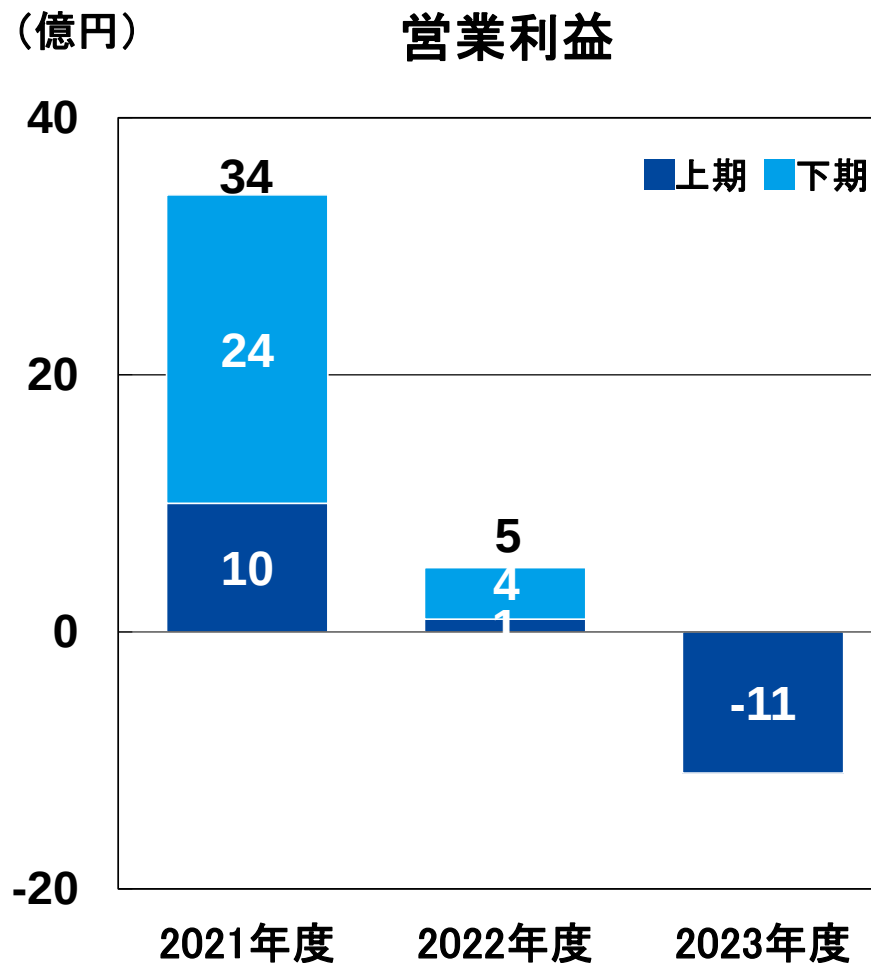
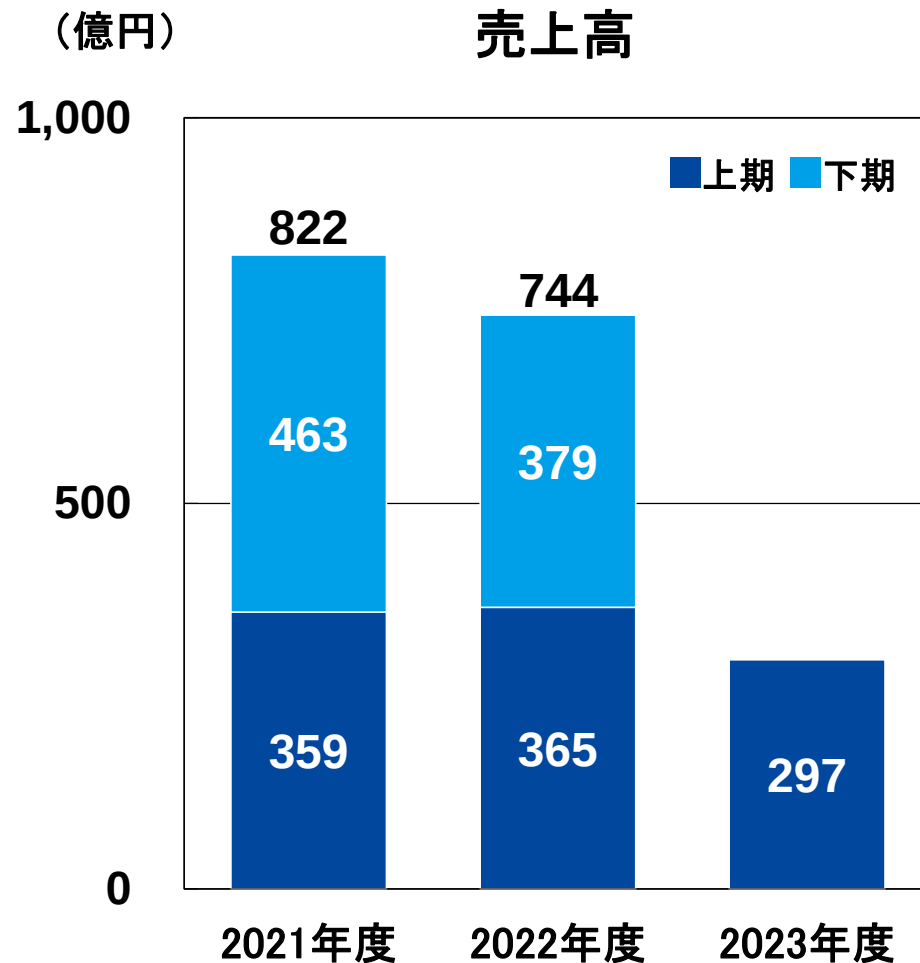
(億円)

営業利益



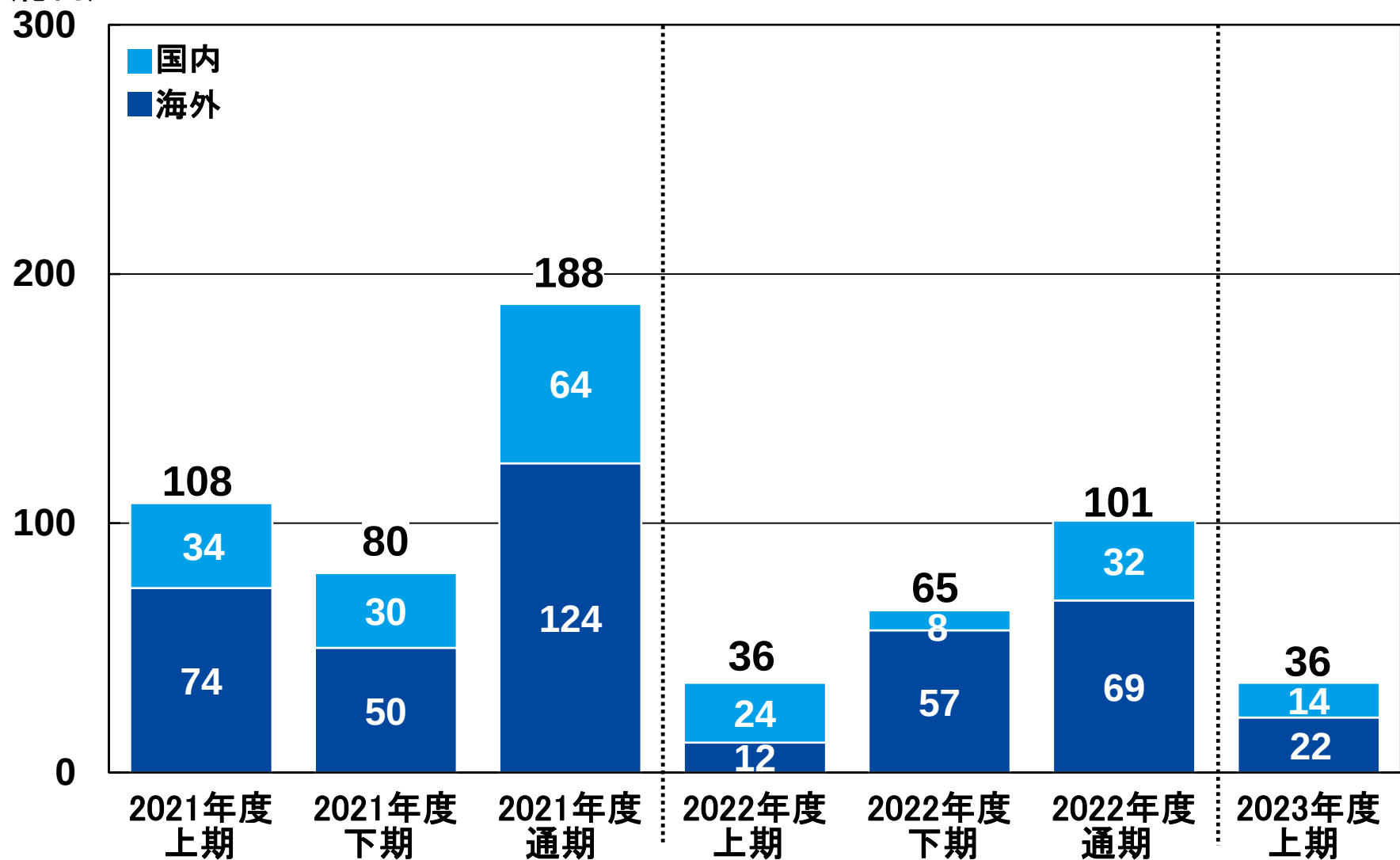
地域別売上高・営業利益(アジア)

- 売上高は、為替換算影響はあったものの得意先の減産影響等により、18.6%の減収
- 営業利益は、操業度影響等により、11億円の損失



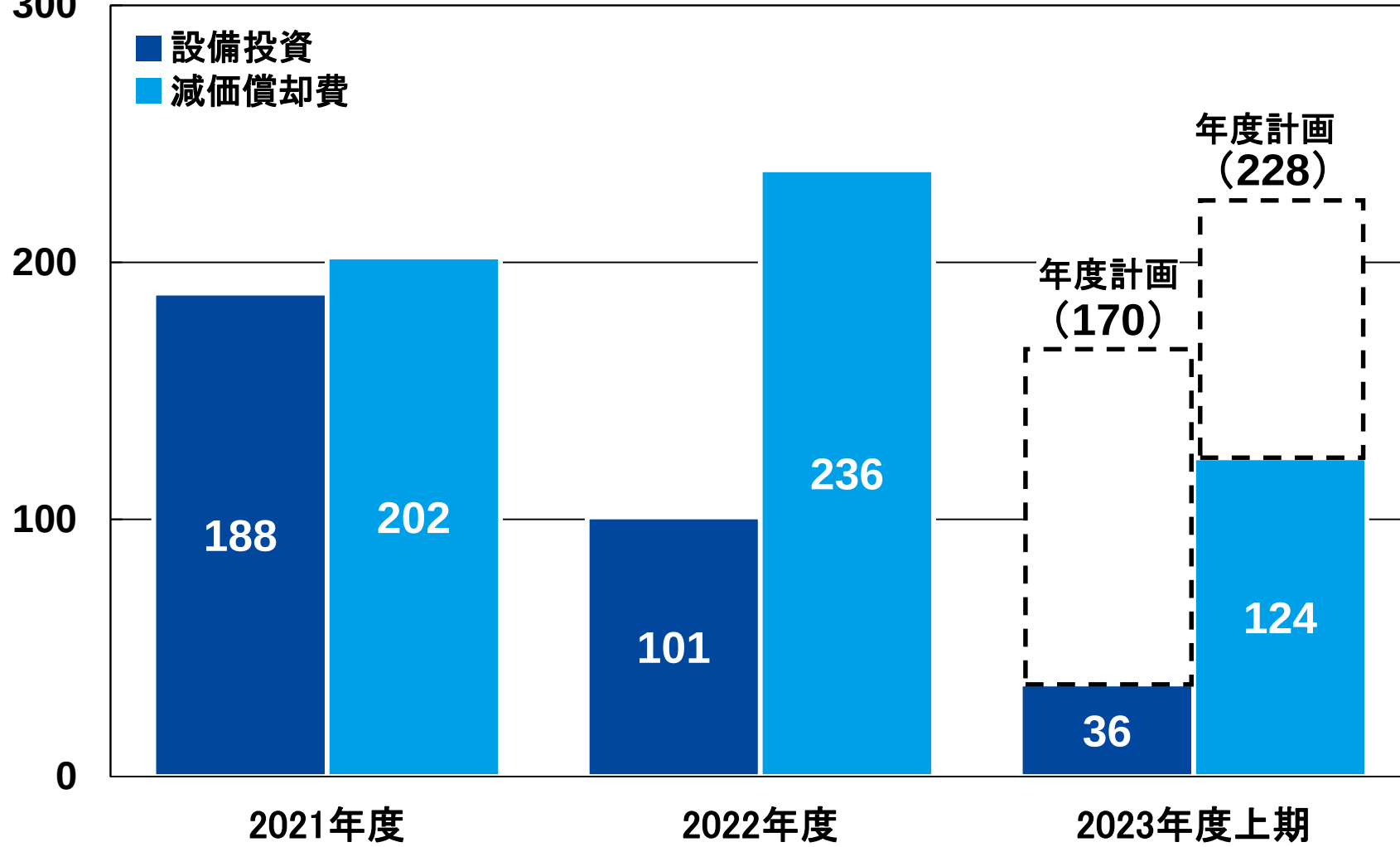
設備投資推移

(億円)



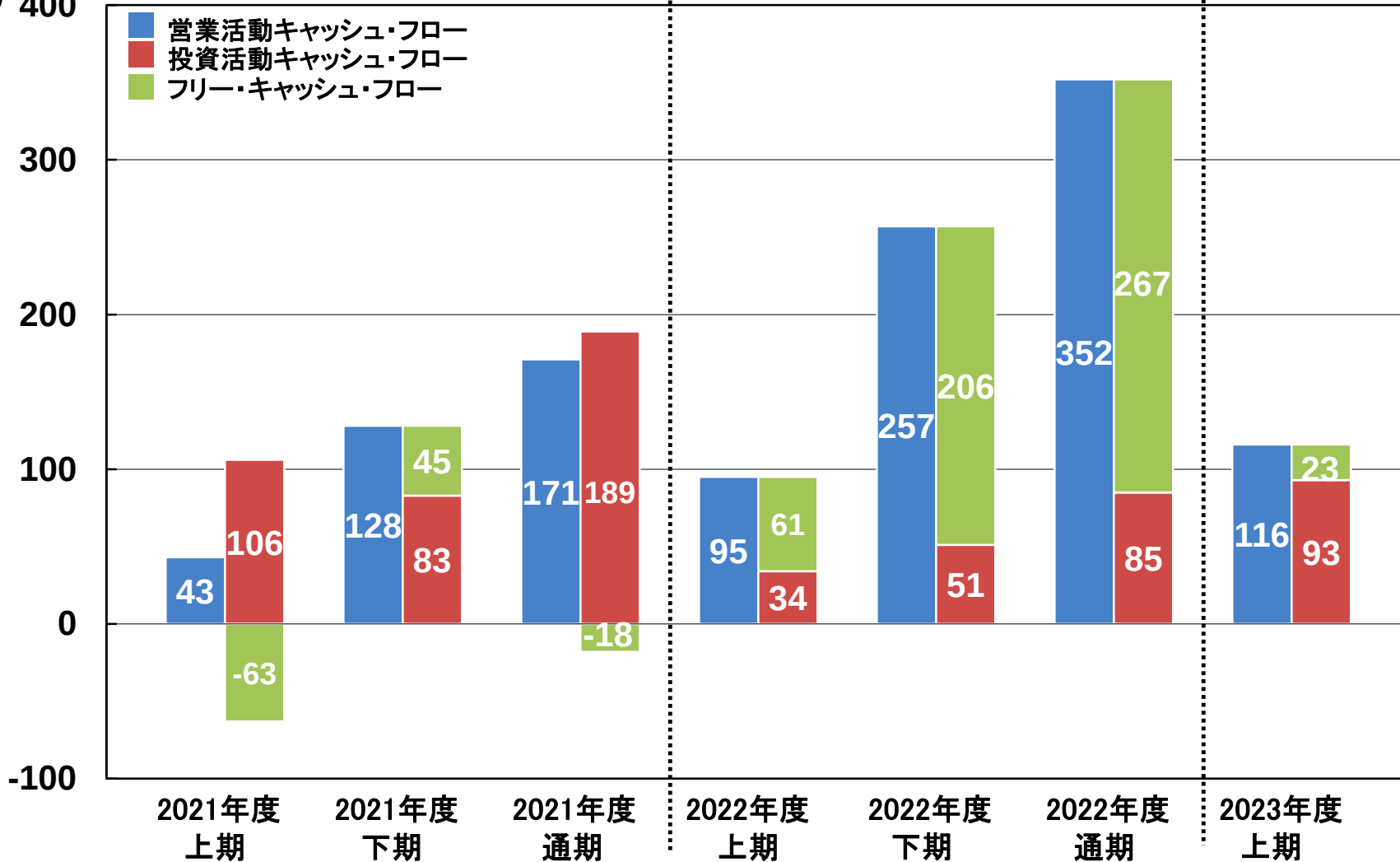
設備投資・減価償却費推移

(億円) 300



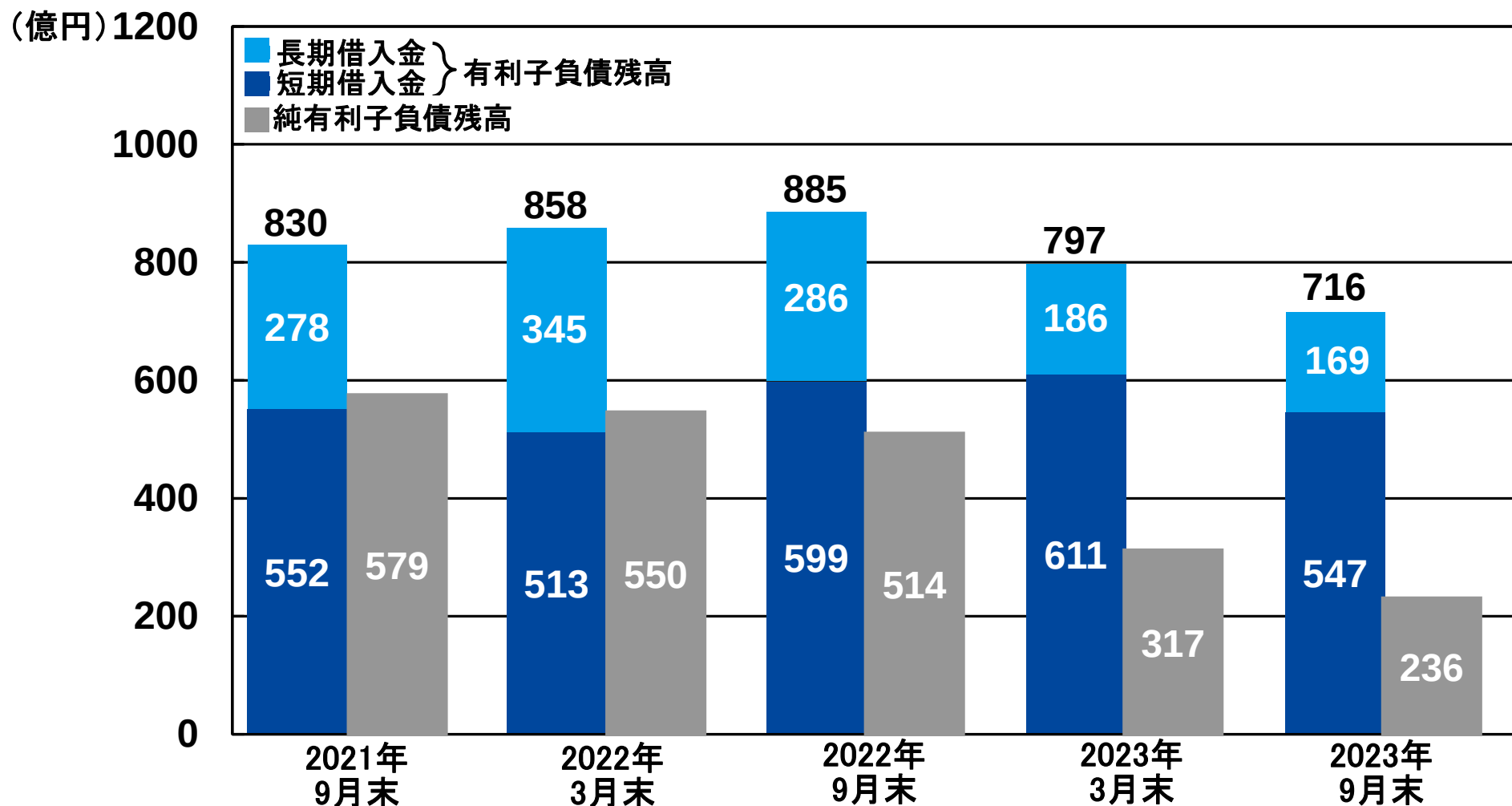
キャッシュ・フロー

(億円) 400



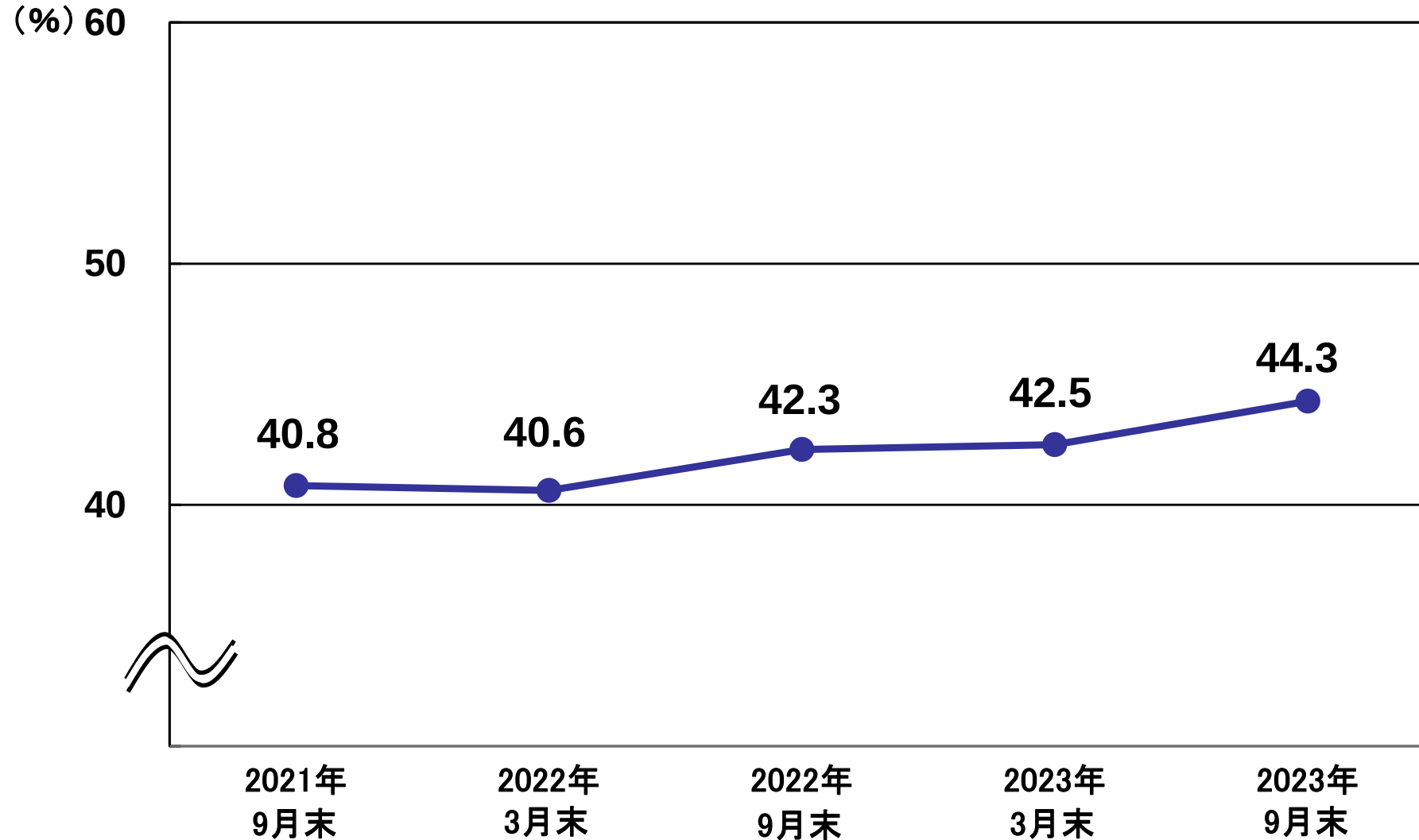
有利子負債・純有利子負債残高の推移

- 有利子負債は、前年度末に対して81億円減少
- 現預金を含めた純有利子負債は、236億円



自己資本比率の推移

- 前年度末に対し1. 8%増の44. 3%



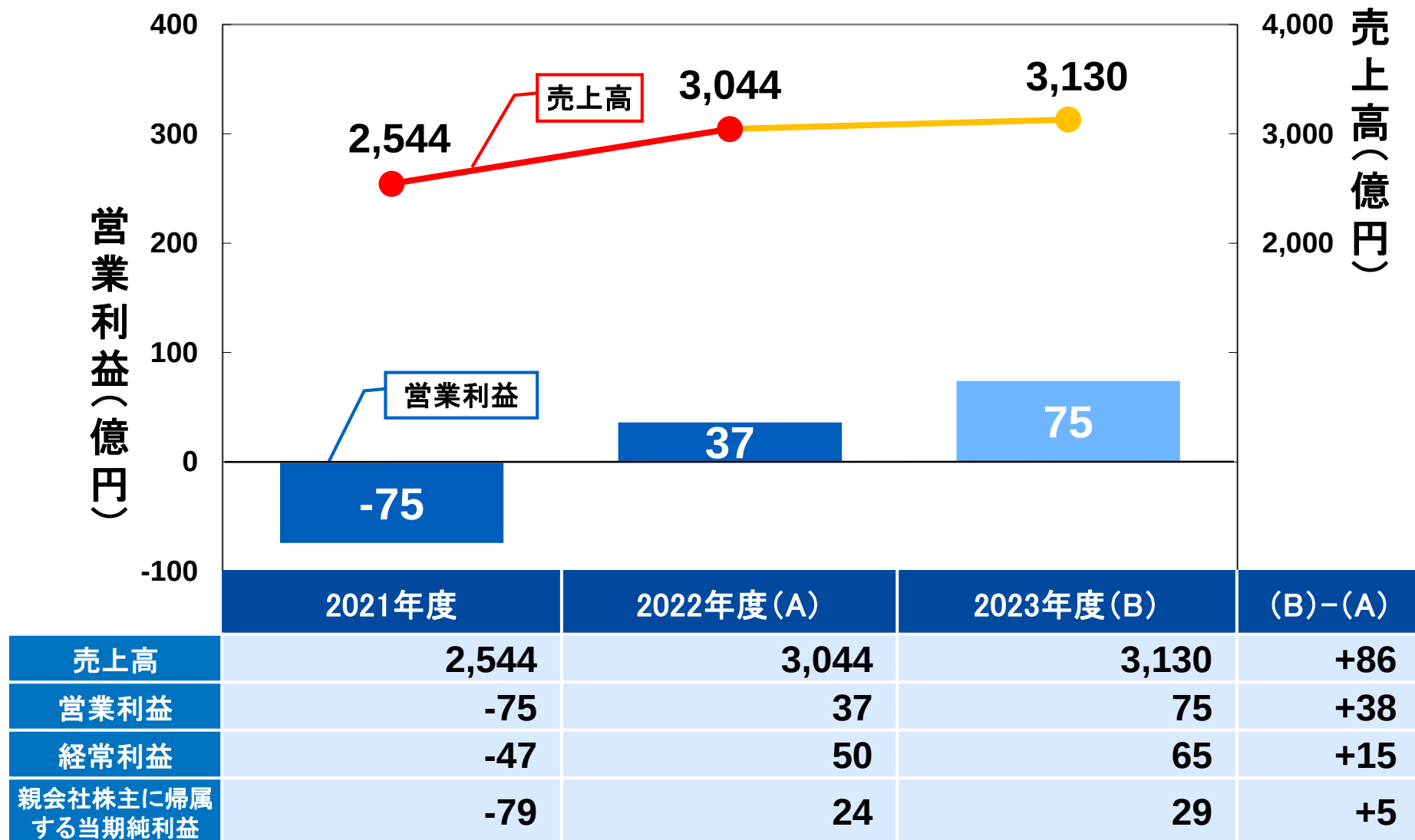


2023年度見通しについて

1. 売上高は、半導体供給不足やエネルギー価格の高騰等の不安定要素は残るものの、新型コロナウイルスによる影響は縮小傾向にあり、得意先からの受注は今後回復することを見込み増収

2. 営業利益は、売上増の影響および合理化効果等により増益見込み

2023年度連結業績見通しサマリー





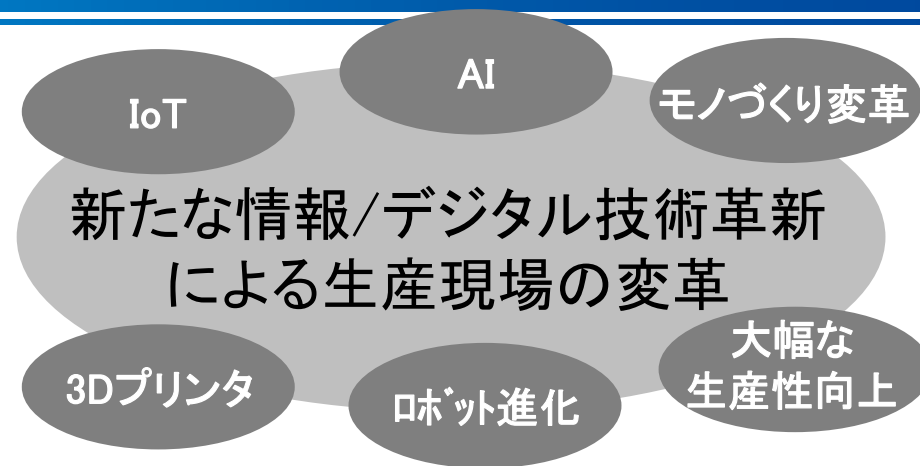
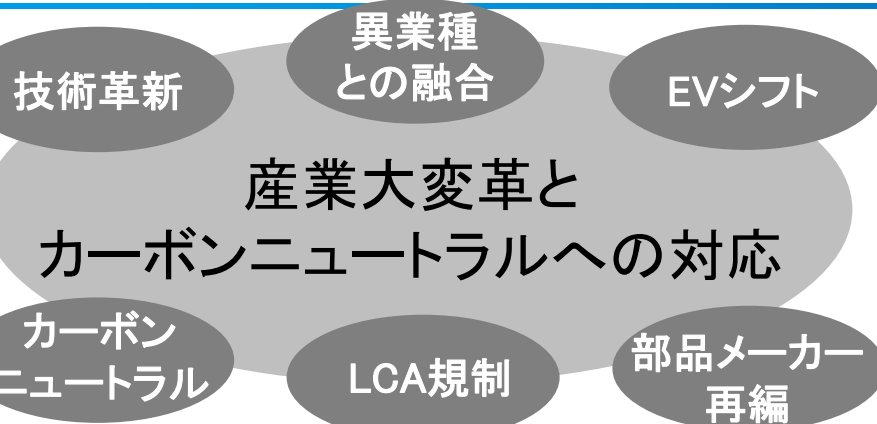
中期経営方針

<ユニプレスグループ企業理念体系>



3つの重要な経営課題

自動車産業
を取り巻く
環境変化



強み

お客様の「何とかしたい」を叶える『**解決型ビジネス風土**』と
「任せて良かった」に応える『**付加価値提案力**』

3つの重要な
経営課題

電動化への 対応加速

- ・戦略的技術開発の加速
- ・グローバル拡販の推進

業界トップレベルの 収益力実現

- ・連結・単体の収益力再強化
- ・スマート工場の実現
- ・製品開発力・生産技術開発力の強化

サステナビリティ 経営の推進

- ・ESGの取り組み拡充
- ・品質の向上
- ・カーボンニュートラルへの対応
- ・ガバナンス体制の強化



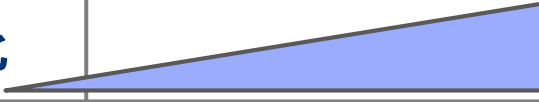
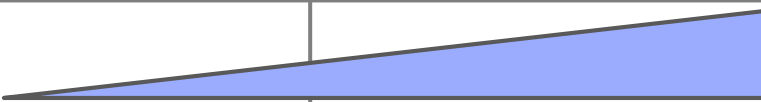
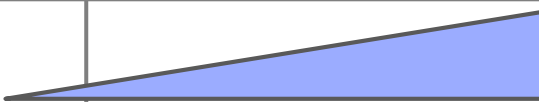
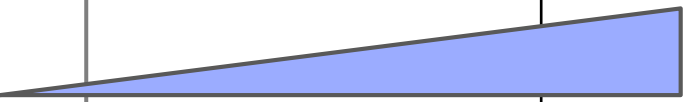
1. 電動化への対応加速



(1) 戦略的技術開発の加速

電動化に伴う商品開発の方向性

- バッテリーによる重量増、衝突性能の更なる強化に対応した軽量化技術開発
- 電動車パワートレイン用部品参入のための開発

	主要取組み	実現時期	
		～2025年度	～2030年度
軽量化	① スチール部品の更なる高強度化		
	② アルミ部品対応力強化		
	③ 車体構造最適化検討体制構築		
	④ 樹脂部品の多機能化		
電動車 パワートレイン	⑤ 電装品、駆動部品のプレス化		
	⑥ 機能部品の開発		

電動化に伴う商品開発の進捗状況

	主要取組み		進捗状況
軽量化	①	スチール部品の更なる高強度化	■ ホットスタンプ2.0GPa材の適用部品 ■ ホットスタンプ1.5GPa材でパッチワーク※の適用部品 ⇒それぞれ、新規受注決定 ※パッチワーク: あらかじめ2枚の鋼板を重ねて溶接し、同じ金型で同時に成形加工する工法
	②	アルミ部品対応力強化	■ プレス設備仕様の検討を完了 ■ ダイカスト・押出部品との組立品質保証技術の構築に向け取り組み中
	③	車体構造最適化検討体制構築	■ 独自の車体構造提案ができるインフラ・組織体制の構築 ⇒フルカー解析への対応完了（前突・側突・後突可能） 部分モデルの解析技術構築に向け取り組み中 ■ ギガキャストに勝るスチール部品統合構造の検討を開始
	④	樹脂部品の多機能化	■ 吸音・遮音機能を付与した大型フロアカバー製品開発 ■ 難燃性を向上させたバッテリーカバー製品開発 ⇒現在、開発に取り組む中

	主要取組み		進捗状況
⑤ 電装品、駆動部品のプレス化 ⑥ 機能部品の開発			【電装品】 ■ アルミ鋳造製の構成部品を材料置換によりプレス製品化 ⇒アルミ鋳造品の、アルミ板・鋼板・樹脂化に取り組み中 【駆動部品】 ■ 打ち抜き部品のバリ除去工程廃止の技術開発 ⇒現在、開発に取り組み中 ■ 熱間鍛造成形部品の冷間プレス化技術開発 ⇒採用に向け活動を開始
			■ 部品点数を大幅に削減したHEV用ダンパー開発 ⇒自主試作による評価が完了(特許出願済) ■ モーター最大出力を抑制できるBEV向け変速機開発 ⇒自主試作による評価が完了(特許出願済)



(2) グローバル拡販の推進

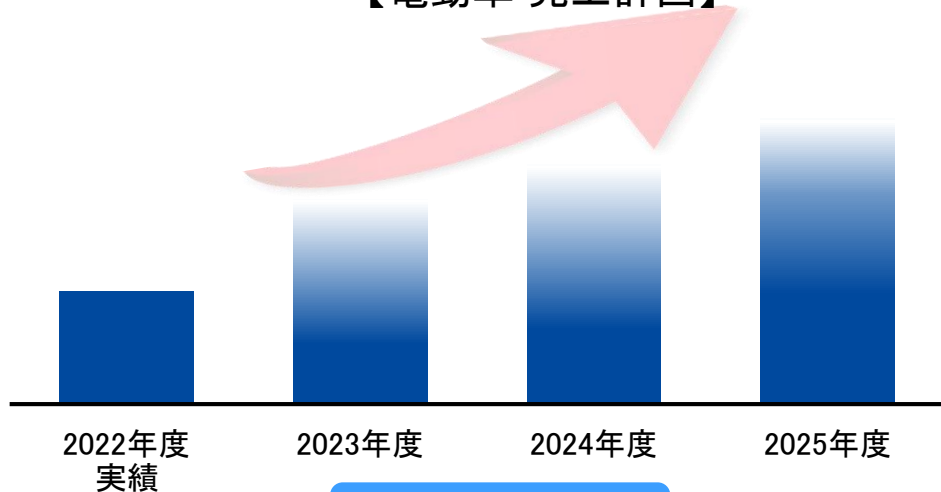
2022年度 新車部品の立上げ実績と今後の見通し

★ : 電動車 ☆ : ICE車

		2022	2023	2024	2025
日本		★ ★ ★ ☆ ☆	☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆	★ ★ ★ ★ ☆ ☆
米州		☆ ☆	—	★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆ ☆
欧州		★ ★	★	★ ★ ☆	★ ★ ★ ☆
アジア	中国	★ ★ ☆	★ ☆ ☆	★ ★ ☆	★ ★ ☆
	タイ・インド・ インドネシア	☆ ☆ ☆ ☆ ☆	☆	☆	☆ ☆ ☆ ☆
計		17	11	19	21

ハイテン・ホットスタンプ比率の高い電動車のグローバルでの受注拡大に伴い、売上も拡大

【電動車 売上計画】



e-Power



日産「新型セレナ」



日産「キックス」



日産「ノート」



日産「キャッシュカイ」



日産「シルフィ」



日産「エクストレイル」

EV



日産「リーフ」



日産「アリア」



日産「e-NV200」



日産「サクラ」



Venucia「T60EV」



Venucia「D60EV」



ルノー
「メガーヌE-Tech」



★ルノー
「セニックE-Tech」



ホンダ「Honda e」



マツダ「MX-30」



三菱「eKクロス EV」

PHEV



★Venucia「V-ONLINE」



三菱「アウトランダー」

新規取引先への拡販状況

同業サプライヤーからの受注により、取引のなかった
カーメーカーや拠点への拡販につなげた

赤字: 2023年度 生産開始の車種

※()内は、同業サプライヤー名

インド
(Toyotetsu)

- スズキ「ブレツァ」
- トヨタ「イノーバクリスタ」
- トヨタ「フォーチュナー」
- トヨタ「アーバンクルーザー・ハイライダー」



トヨタ「アーバンクルーザー・ハイライダー」

アメリカ
(キーレックス)

- マツダ「CX-50」

インドネシア
(INGRESS(片山工業))

- 現代自動車「クレタ」
- 現代自動車「スターゲイザー」

中国市場における拡販戦略

中国の自動車市場

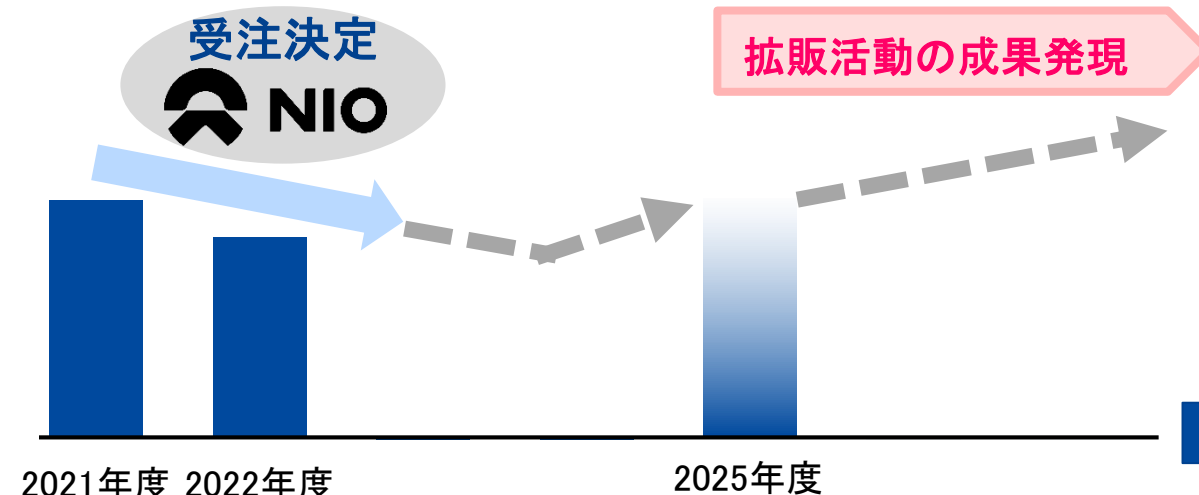
- EV化の加速により、日系自動車の販売不振が続く
- 中国政府はNEV普及を促進
(2035年までにNEV率50%目標)

当社の対応

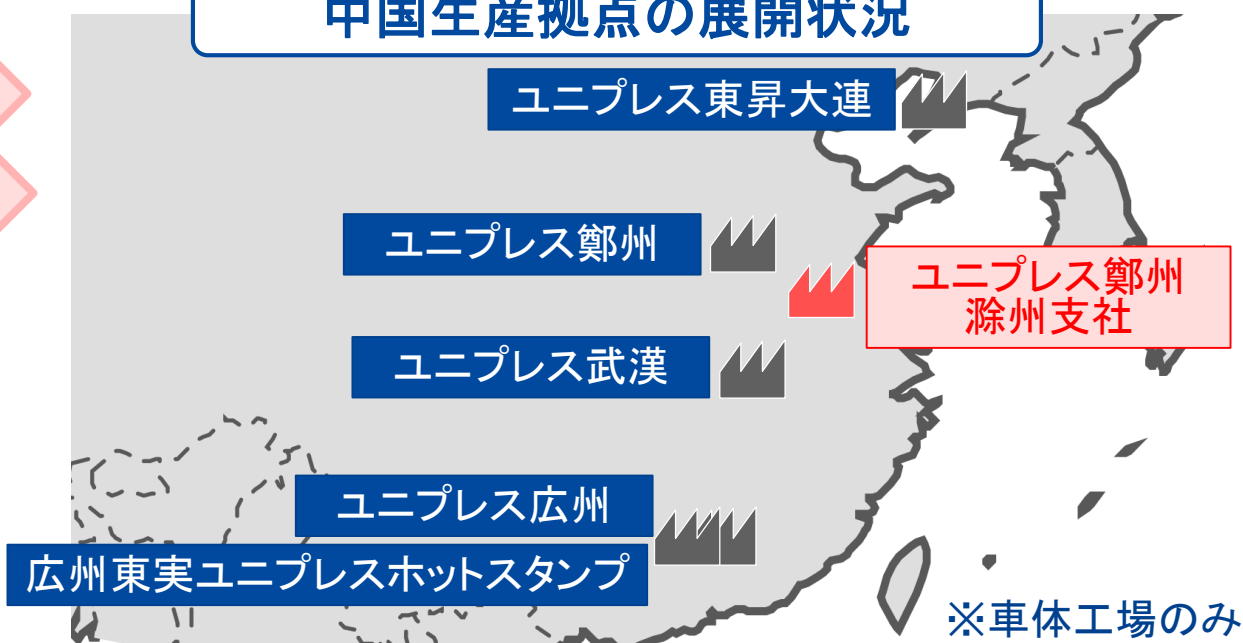
- 中国の市場調査を強化し、現地のEVメーカーを中心に拡販活動を加速
- 拡販を見据えた生産拠点の再編により、競争力を最大限に発揮できる体制の構築を図る

【中国の売上見込み】

- 新規カーメーカーの開拓
- 拡販活動強化



中国生産拠点の展開状況



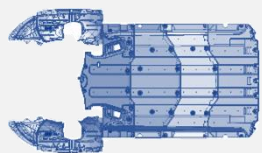
樹脂部品事業の受注状況

- 既存取引先であるマツダからの受注も確実に獲得
- マツダのICE車に加え、EV・PHEV向けの部品を受注し、売上拡大につなげる

【マツダ車 受注状況】

※ICE車にはマイルドハイブリッドも含む

EV大型受注部品



アンダーカバー

MX-30
(ICE/EV/PHEV)



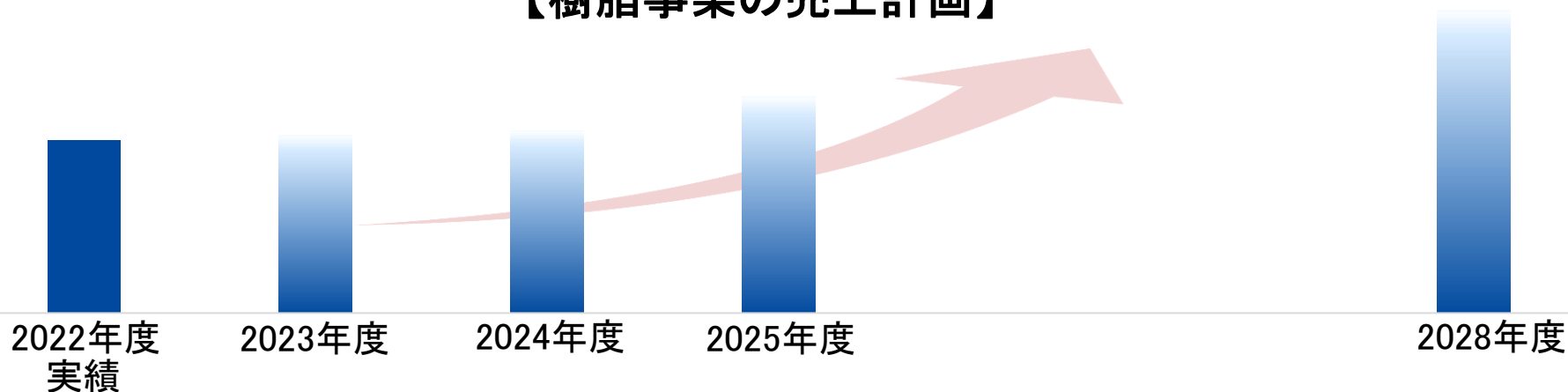
CX-60
(ICE/PHEV)



CX-90
(ICE/PHEV)



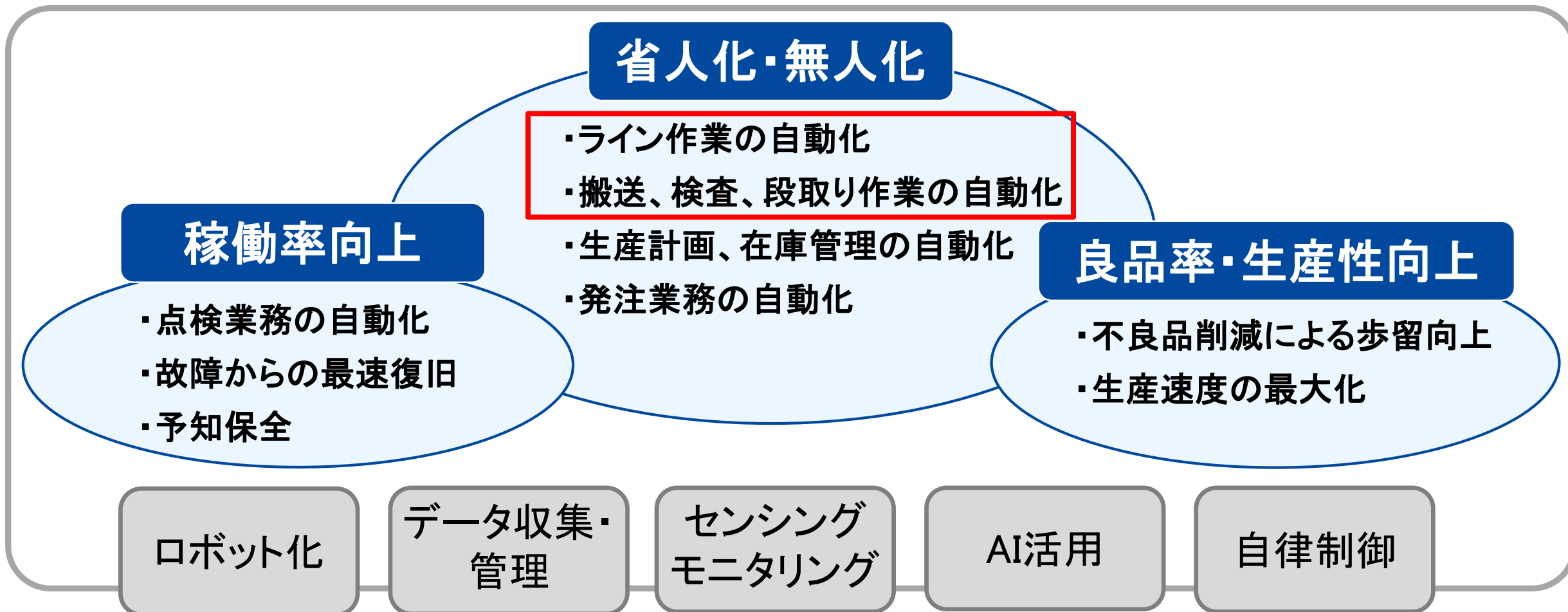
【樹脂事業の売上計画】





2. 業界トップレベルの収益力実現

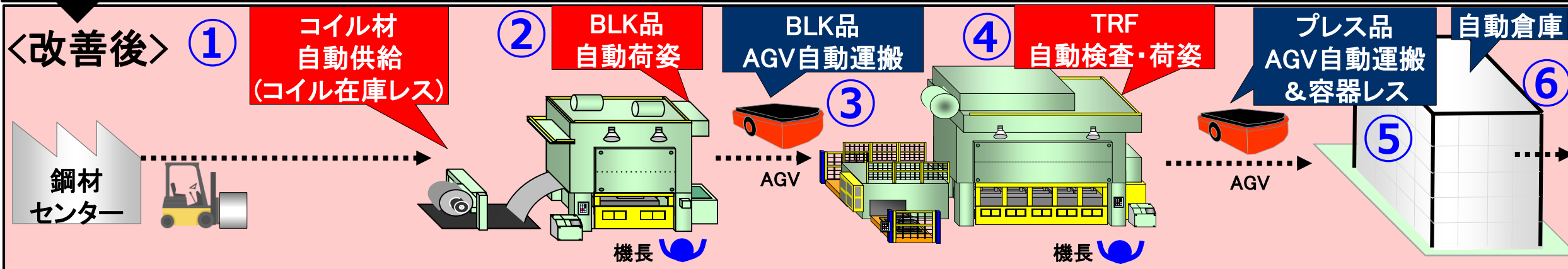
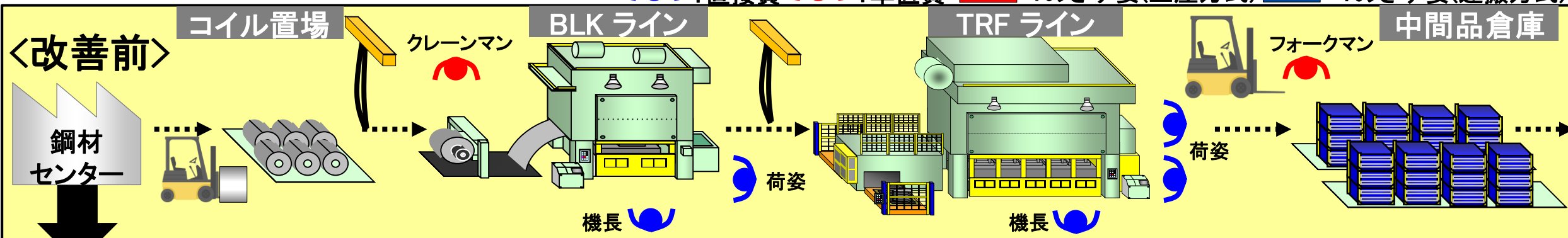
「最少人数で運営する工場」+「止まらない工場」の実現



スマート工場実現への取り組み(ユニプレス広州)

“プレスをめざす姿”の構築を通じて、
1直5名(一日当たり2直10名)、71%の人員削減を実現

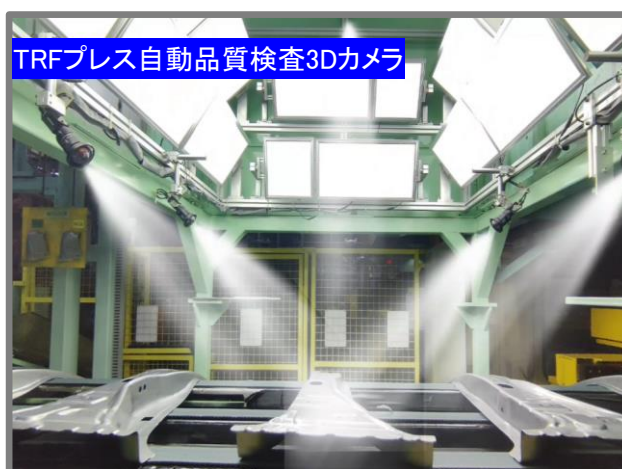
👤 : 直接員 👤 : 準直接員 🚚 : めざす姿(生産方式) 🚚 : めざす姿(運搬方式)



モノの流れ	①コイル材供給	②BLK生産	③BLK品運搬	④TRF生産	⑤⑥プレス品運搬	Total
現状の姿	0.5名	2名	0.5名	3名	1名	7名
プレスのめざす姿	0名(▲0.5名)	1名(▲1名)	0名(▲0.5名)	1名(▲2名)	0名(▲1名)	2名(▲5名)

生産方式の革新：コイル自動供給 & BLK/TRF自動品質検査・荷姿

対象部品の選択とモデル設備への集中を通じて、
品質検査と荷姿の自動化を実現(プレス設備の直接員▲60%)



①BLKコイル自動供給

②BLKプレス 自動荷姿

④TRFプレス自動品質検査
(3Dカメラ)

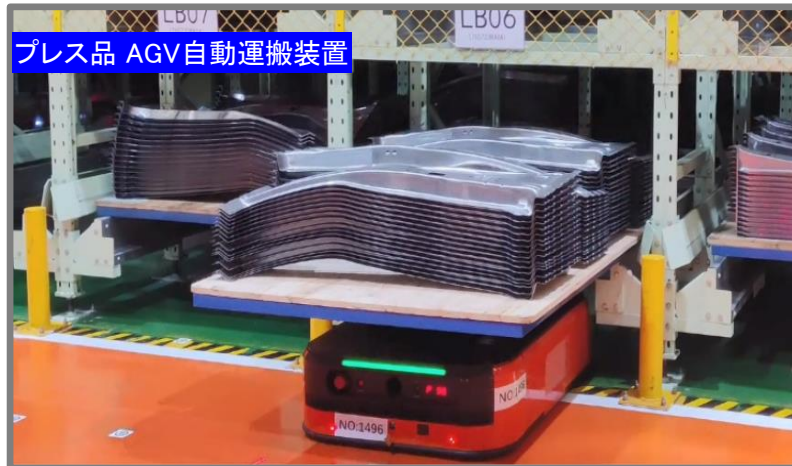
④TRFプレス自動荷姿
(積上げROB・荷姿ROB)

運搬方式の革新：AGV自動運搬と自動倉庫(在庫管理)

物流に関する完全自動化を目指して取り組み、
AGV自動運搬や自動倉庫を実現(物流の準直員▲100%)



③BLK品 AGV自動運搬
(BLK⇒TRF)



⑤プレス品 AGV自動運搬 &
容器レス
(TRF⇒自動倉庫⇒組立)



⑥プレス品自動倉庫
(在庫数管理、先入れ先出し)



3.サステナビリティ経営の推進

マテリアリティおよび中長期目標(2030年度)

	マテリアリティ	目標・ターゲット
E	気候変動対策	2030年度事業活動で排出するCO ₂ 排出量30%削減(2018年度基点)
	環境貢献製品の開発	<車体プレス部品事業> ・更なる軽量化部品の開発および量産車への採用 <トランスミッション部品事業> ・電動車部品の開発および量産車への採用
	資源の有効活用	産業廃棄物リサイクル率70%以上〔ユニプレス/ユニプレス技術研究所〕
S	製品品質向上	納入不良ゼロ
	人権尊重	重大な人権侵害ゼロ
	ダイバーシティの推進	①女性管理職の比率拡大(7%)〔ユニプレス/ユニプレス技術研究所〕 ②海外拠点の上級管理職における現地従業員の比率拡大(60%)〔海外〕
	サプライチェーン・マネジメント	【持続可能な調達の推進】環境・社会に関する高リスクサプライヤーゼロ
G	コーポレート・ガバナンスの強化	①重大な法令違反ゼロ ②重大な腐敗防止方針違反ゼロ

※マテリアリティ・目標は見直しの可能性あり

CO₂排出量削減に向けた取り組みの一つとして、 「インターナルカーボンプライシング(ICP) 制度※」を導入

※インターナルカーボンプライシング(ICP)制度:企業内で独自に排出量に価格を付け、投資判断などに活用する制度

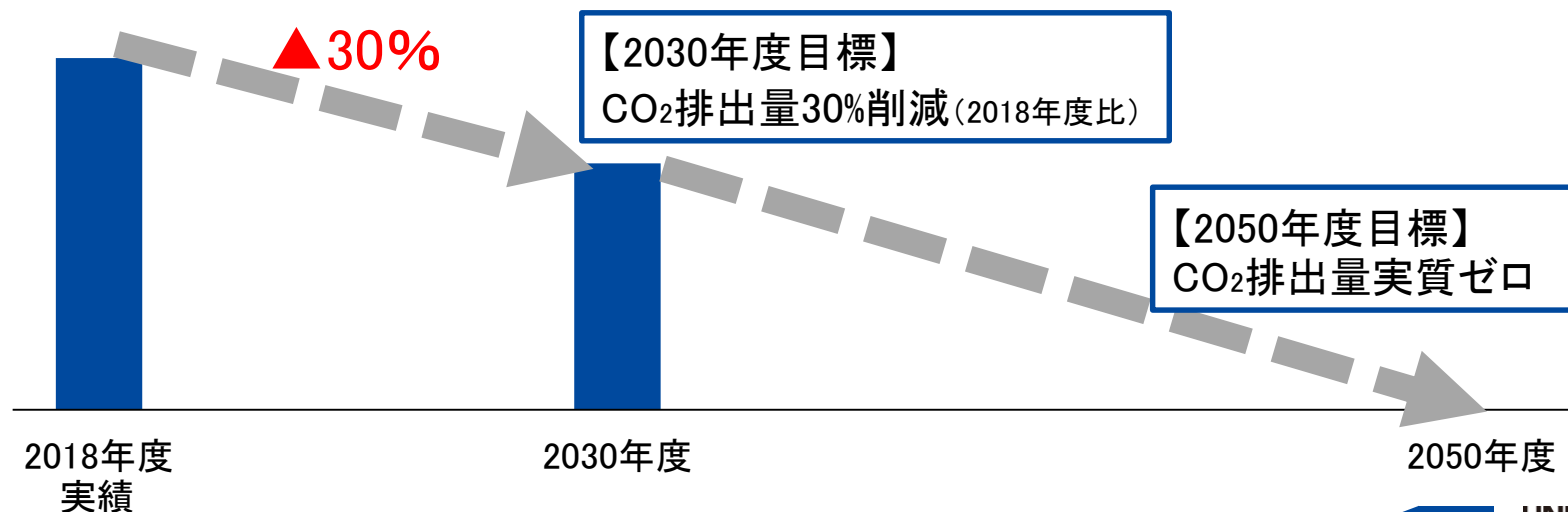
■ユニプレスICP制度の概要

社内炭素価格: 18,000円/t-CO₂

制度対象 : CO₂の排出量増減を伴う設備投資

適用方法 : 対象となる設備投資計画によるCO₂排出量の増減に関し
社内炭素価格を適用した費用を算出し、投資判断の参考とする

【事業活動で排出するCO₂排出量削減イメージ】



2023年6月、SOMPOアセットマネジメント株式会社が設定する
「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に
3年連続選定されました



■ SOMPOサステナビリティ・インデックスとは

- ・ESGの取り組みに優れる300銘柄から構成され、毎年見直しが行われる。
- ・SOMPOアセットマネジメント株式会社が独自のアクティブ・インデックス。
- ・同社の機関投資家向けの責任投資プロダクト「サステナブル運用」に活用される。

車体部品事業・トランスミッション部品事業において、品質やESG等に関する賞を受賞

<2023年度上期 得意先からの受賞歴>

受賞拠点	授与得意先	賞名
ユニプレス日本	武蔵精密工業	品質優良賞
	ジャトコ	リージョナル特別賞
ユニプレスインド	Isuzu Motor India	Best Quality Award
ユニプレス武漢	東風日産	新車品質賞
ユニプレス精密広州	ジャトコ広州	2022年度品質特別賞
ユニプレス ノースアメリカ	北米日産	Diversity Award Over Achiever

ジャトコ広州
「2022年度品質特別賞」



ジャトコ
「リージョナル特別賞」

Isuzu Motor India
「Best Quality Award」



北米日産
「Diversity Award
Over Achiever」

サステナビリティレポート2023発行

当社のサステナビリティに関する取り組みをまとめた
「サステナビリティレポート2023」を発行



The screenshot displays the 'Sustainability Report 2023' website. The main header includes navigation tabs: '企業情報', 'トップメッセージ', 'サステナビリティマニフェスト', '環境', '社会', 'ガバナンス', and '補足資料'. The '環境' (Environment) tab is selected.

The main content area is titled '2022年度 中長期目標(〜2030年度)' and lists various sustainability goals and achievements. Key sections include:

- マテリアリティ** (Materiality): A table listing 10 material issues with their respective scores and status.
- SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み** (SDG Initiatives): A section detailing how the company's activities align with the 17 SDGs.
- CO2削減目標** (CO2 Reduction Targets): A table showing targets and actual performance for 2022.
- CO2削減実績** (CO2 Reduction Achievements): A bar chart showing CO2 emissions in 2021 and 2022.
- CO2削減率** (CO2 Reduction Rate): A table showing the reduction rate for 2022.
- CO2削減率の向上** (Improvement of CO2 Reduction Rate): A section explaining the factors contributing to the improvement.

The footer of the website displays the company name 'ユニプレス株式会社' (Unipres Co., Ltd.).

今後も更なる情報開示の充実を図ってまいります。

サステナビリティレポートは当社ホームページからご覧いただけます。 <https://www.unipres.co.jp/csr/report>



「IR情報メール配信サービス」のご案内

ユニプレスの最新情報をメールでお知らせします。ぜひご登録下さい。

スマートフォンから

二次元コードを
読み取って
登録



パソコンから

ユニプレス
WEBサイト
トップページの
バナーをクリック



一覧を見る >> ピックアップ

» 株主総会・配当・株主優待等

» 株価情報

» IR情報メール配信

» お問い合わせ

(円)

	2022年度 上期		2023年度 上期		2023年度 見通し前提 (期初)
	期中平均	期末	期中平均	期末	
米ドル	135.31	144.81	142.61	149.58	125.00
英ポンド	159.89	165.78	169.25	182.90	154.00
ユーロ	135.14	142.65	147.89	157.56	135.00
ペソ	6.16	6.78	7.60	8.47	6.80
人民元	19.14	20.39	19.55	19.95	18.50
ルピー	1.72	1.78	1.73	1.80	1.55
バーツ	3.67	3.87	3.97	4.06	3.80
ルピア	0.0086	0.0092	0.0091	0.0097	0.0085

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 主要市場（日本、米州、欧州、アジア等）の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- ・ 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- ・ 為替相場の大幅な変動
- ・ 金融・資本市場における金利等の変動 など